

学校風土

公益社団法人 子どもの発達科学研究所
副所長・主任研究員 大須賀 優子



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

1

学校風土とは



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

2

学校風土とは

学校風土とは

The National School Climate Council (2007)
国立学校風土協議会(アメリカ)

学校風土の定義

「教師と児童生徒の学校生活での経験パターンからくるもので、学校の決まり、目標、価値観、人間関係、授業実践、組織体などに影響を与えるもの」

● 良い学校風土を保持

将来、民主主義社会で生産的で満足のいく生活を送る可能性が高い若者を育てることができる

● 学校風土

児童生徒とその家族、教職員が一緒につくるもの



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

3

3

学校風土とは

学校風土の影響

ポジティブな学校風土…成績向上やリスク予防に寄与

- 児童生徒のモチベーションを高め、成績を向上させる
(高校卒業率と大学進学率を高め、中退を防ぐ)
- 児童生徒の精神的・行動的健康に良い影響を与える
(また、リスク行動や抑うつ症状の減少、帰属意識の増加に寄与する)
- 薬物使用の低下につながる
- 学校風土改善を目的とした介入は、障害のある児童生徒の回復力と帰属意識の向上につながる
- 教師の離職率を減らし、教師の満足度を向上させる



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

4

4

学校風土とは

学校風土の影響

ネガティブな学校風土・・・学力低下やリスク増大

- 卒業率や学力の低下につながる
- いじめ、暴力、自殺のリスクを高める
- 心理社会的・行動的適応度の低下
(自己肯定感の低下、抑うつ症状、問題行動など と関連する)
- LGBTや障がいのある児童生徒に不公平な影響を与える

例えば・・・

- LGBTの児童生徒
欠席、教育達成度の低下、心理的幸福度の低下をもたらす
- 障がいのある児童生徒
不安、学校からの疎外感や無関心、学校スタッフから見下されている、大切にされていないという感情と関連する



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

5

学校風土とは

学校風土の影響

学校風土・・・学校教育の成否を決める重要な要因

アウトカム	係数	効果量	解釈(学校風土の合計得点が1点上がると)
いじめ被害(%)	-0.35****	0.08(中～大)	いじめ被害の割合は0.35%少なくなる
欠席日数(日)	-0.017****	0.50(大)	平均欠席日数は0.017日少なくなる
遅刻日数(日)	-0.001***	0.004(小)	平均遅刻日数は0.001日少なくなる
早退日数(日)	-0.005****	0.29(大)	平均早退日数は0.005日少なくなる

※ 学校サイズ(調査した児童生徒数)と校種(小学校か中学校か)で統制した結果

子どもの発達科学研究所 これまでの研究でわかったこと
(文部科学省委託事業「子どもみんなプロジェクト」での検証)

学校全体の学校風土が良いことは、特に欠席日数と早退日数に強い関連を示した

子どもの発達科学研究所による日本での研究でも裏付けられつつある



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

6

学校風土尺度



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

7

学校風土尺度

学校風土尺度の開発

世界には学校風土尺度がたくさん存在するものの
日本の教育制度や文化の違いから、適用できず

➡「日本学校風土尺度 Japan School Climate scale(JaSC)」を開発
(児童生徒が自分の学校の風土について回答する32項目の質問項目)



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

8

学校風土尺度

学校風土尺度の開発

世界には学校風土尺度がたくさん存在するものの
日本の教育制度や文化の違いから、適用できず

➡「日本学校風土尺度 Japan School Climate scale(JaSC)」を開発
(児童生徒が自分の学校の風土について回答する32項目の質問項目)

➡「日本学校風土尺度(改訂版)」(JaSC-R)
(32項目の中から統計的分析により、重要な20項目を抜粋)

「学校風土D調査」をリリース

学校風土尺度

学校風土の2つの側面

1. 安心・安全の感覚【SS:School Safety】

- すべての人の心と体の安心・安全が確保されている
- 多様性が認められている
- いじめがない／なくなるよう努力している

2. 積極的なかかわり【SE:School Engagement】

- 子ども同士の関係が良い
- 学校での活動を友達と一緒に楽しんでいる
- 子どもと先生との関係が良い

学校風土尺度

学校風土D調査

- 学校風土全体
- SS(スクールセーフティ)・SE(スクールエンゲージメント)
- 20の測定項目

➡ 正確・客観的に測定



学校風土を向上させるには

学校風土を向上させるには

学校風土を向上させるには

まず考えるべきは「学校全体」での取り組み

- 学校全体の学校風土は、学年・学級に影響
- その変化は学校の教育活動全体の評価を高める

➡ 多くの問題の予防につながる

学校全体で学校風土向上を目指すことが大切

学校風土を向上させるには

学校風土を向上させるには

- 評価が高いところ
その強みは保持することを目標とする
- 評価が低いところ
改善しやすいところ(やりやすそうなところ)に注目する

学校風土を向上させるには

学校風土を向上させるには

学校風土の2つの側面

- 「SS: 安心・安全の感覚」
 - 「SE: 積極的なかわり」
- 対策を考えることが重要

✚ 不登校要因調査の結果から分かった5つのアクション

1. いじめ被害および友達とのトラブルの予防
2. 教師の行動、学校風土の改善
3. 授業改善、学習支援の充実
4. 児童生徒の体調、メンタルヘルス、生活リズムへの注目
5. 背景要因へのアプローチ

➡ 「学校風土D調査」の結果を参考に実行

学校風土を向上させるには

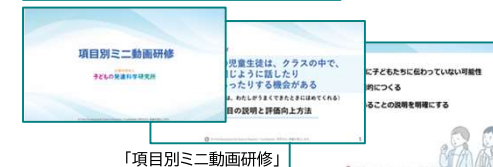
学校風土を向上させるには

学校風土向上のための
「項目別ミニ動画研修」
(全項目に対応)

➡ 項目別評価・
取り組みの参考に



「学校風土D調査」の結果のサンプル画面



「項目別ミニ動画研修」

学校風土を向上させるには

6つのアクション

1	前向き行動支援(教師行動)	基本となる考え
2	生徒指導システムの再構築	学校全体のシステムとして捉え、枠組みを変える
3	授業、学習支援の改善	学校生活の中心
4	非認知スキル教育	前向き行動支援の1つ、児童生徒への直接的働きかけ
5	特別支援教育の充実	発達障がいのある児童生徒への環境設定、指導支援方法の確認、ユニバーサルな学校の実現
6	いじめ予防	いじめ予防研修

 © Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。17

学校風土を向上させるには

アセスメント&アクション

「学校風土の評価」…アセスメント
「学校風土向上のための方法」…アクション

学校風土の向上

- 学校教育全体の評価を高める
- 多くの問題を予防する

学校改革のカギ

 © Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。18

まとめ

 © Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。19

まとめ

環境と個人の関係

不登校、いじめ、子どものメンタルヘルスの悪化、暴力など
課題は環境と相互に作用する

教師
教師が子どもに与える影響は大きい

学級集団
集団の雰囲気は子どもの行動と強い関係を示す

対象児
成績、発達特性、メンタルヘルスの課題、特別教育支援のニーズ

保護者と家庭環境
貧困問題、ひとり親家庭のリスク、不適切な養育、愛着の問題

学校風土
学校環境

学級集団

対象児

保護者
家庭環境

地域環境

 © Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。20

まとめ

令和5年3月31日に永岡文部科学大臣の下、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」が取りまとめられ、発表された。

1 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えます。

2 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援します。

3 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にします。

Tier3:個別支援
問題・課題を抱える児童生徒への介入支援

Tier2:問題の初期対応
早期兆候・問題課題の初期への対応

Tier1:全ての子どもが対象
健全な発達の支援
ポジティブな行動支援

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

21

まとめ

子どもが安心して、積極的に
かかわることができる教室・学校

教師
教師が子どもに与える影響は大きい

学級集団
集団の雰囲気は子どもの行動と強い関係を示す

対象児
成績、発達特性、メンタルヘルスの課題、特別教育支援のニーズ

保護者と家庭環境
貧困問題、ひとり親家庭のリスク、不適切な養育、愛着の問題

教師

学級集団

対象児

保護者

学校環境

家庭環境

地域環境

学校環境へのアプローチはすぐできる
全ての子どもにとって質の高い学校環境が提供できる（第1層：予防的支援）
学校風土が良いことは、いじめや不登校、暴力行為などの問題を未然に防ぐ保護因子になる

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

22

まとめ

まとめ

- 学校風土の向上によっていじめ、不登校など、多くの課題の予防が可能
- 安心・安全の感覚（SS:School Safety）と積極的なかかわり（SE:School Engagement）があるのが良い学校風土
- 学校風土向上のためには、6つのアクションが考えられる

➡ 学校風土向上は学校改革のカギ

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない転載を禁止します。

23

公益社団法人
子どもの発達科学研究所